

# 地域防災におけるジェンダー平等推進事業【和歌山県】

個別事業費	476 千円
交付金額	238 千円

## 地域の実情と課題

令和2年度に実施した「男女共同参画に関する県民意識調査」によると、「防災、災害対策で女性に配慮する必要があること」に関して「避難所の設置・運営に配慮する」において必要であるとした割合は男女ともに9割以上となっている。また、「防災に関する方針決定に女性の参画拡大を行う」において必要であるとした割合も7割を超えている。地域防災拠点の運営において、女性の意見が方針決定に適切に反映されるために、地域防災への女性の参画を推進することが重要である。

## 事業の特徴

女性視点の防災意識醸成 + ワークショップの実施を通じて人材育成講座、資格取得へとつなぐ段階的支援を実施するもの。



地域防災拠点での女性参画拡大

## 事業の効果

女性防災人材の育成・連携が進展したことで、多様な視点を反映した地域防災の取組が広がり、実効性の高い防災体制の構築と継続的な活動の推進につながった。

- ・女性防災人材の参画が進み、地域の女性防災リーダー層を強化
- ・防災士によるネットワーク形成と実践力の向上
- ・多様な視点を取り入れた防災対策に対する理解が深化
- ・地域防災活動への主体的な参画意欲が向上



## 目的・目標

地域防災における女性の視点の反映と参画促進を図るとともに、防災人材の育成を通じて地域防災力の向上につなげることを目的とする。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	ワークショップ参加者のうち防災士資格取得者の割合	10% (アウトカム)	61%	610% ※
事業KPI	ワークショップ参加者数	30名 (アウトプット)	18名	60%

※既資格保有者が多かったため高い達成率となった

## 連携団体

わかやまジェンダー平等プロジェクト参加企業団体、市町村

## 今後の課題

人材の裾野拡大と地域活動への接続及び定着に向けた取組の強化が必要。

- ・防災士資格未取得者や若年層等への裾野拡大
- ・養成人材の自主防災組織等への参画促進
- ・継続的に地域で活躍できる仕組みづくりの構築



# 事業の概要

## 地域防災におけるジェンダー平等推進事業

地域防災における女性の視点の反映と参画促進を図るとともに、防災人材の育成を通じて地域防災力の向上につなげることを目的とする。

### 実施概要

開催日：令和7年9月10日（水）

※7/30開催予定としていたが、  
津波警報発令により延期開催

テーマ：「もしも」に備える

女性のための防災ワークショップ

実施場所：県庁南別館 2階 防災対策室

対象者：防災・減災に関心のある主に県内女性

参加者数：18名



### アンケート結果

回答者：15名（回収率：83%）

#### ①ワークショップの満足度

9割以上が非常に良かった・良かったと回答



#### ②参加の決め手は

- ・様々な情報を入手し、視野を広げたかった
- ・ワークショップの内容に興味を持った
- ・知識や経験を持つ人たちと交流したい

#### ③普段から災害に関する活動や勉強を行っているか？

8割が行っているという結果となった



#### ④自主防災組織を立ち上げたいと思ったか？

参加者のうち12名が防災士資格を保有しており、そのうち3割が立ち上げたいと回答。また4割が既にあるとの回答であった。

#### ⑤防災士資格を持っていない参加者のうち取得したいと思った割合は3割。

## STEP 1 本ワークショップ（関心喚起・意義理解）

↓ 女性視点の重要性を理解し、本ワークショップや防災活動への参加意欲を高める

## STEP 2 人材育成

↓ 紀の国防災人づくり塾※1を通じて知識・スキルを習得し、防災士資格取得へつなげる ※1交付対象外事業

## STEP 3 地域での実践/定着

自主防災組織等での活動機会を確保し、継続的な参画・活躍へ



## 結果・実績

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	ワークショップ参加者のうち防災士資格取得者の割合	10% (アウトカム)	61%	610% ※2
事業KPI	ワークショップ参加者数	30名 (アウトプット)	18名	60%

※2既資格保有者が多かったため高い達成率となった